

協定企業名	太陽石油株式会社		
交流行事名	第10回「いの町 太陽が育む森」		
開催日時	平成27年11月14日(土) 10:15~13:30		
開催場所	いの町清水程野		
主な参加者・人数	太陽石油株式会社の社員の皆さんとご家族 48名 四国森林管理局2名、いの町7名、高知県1名	総勢58名	
概要	体験学習(バウムクーヘン作り、木工教室作り)		
当日の様子	<p>第10回「いの町 太陽が育む森」交流活動がいの町「グリーンパークほどの」で開催されました。約50人の太陽石油社員の皆さんとご家族は、愛媛県今治市からいらっしゃいました。お天気はあいにくの雨のため、山に入る間伐体験は中止になり、森林生態学習館で木工教室とバウムクーヘン作りが行われました。雨の日の交流活動は、久しぶりということでした。</p>		
		<p>開会式では、簡単な日程と協定についての説明の後、塩田町長(いの町)、太陽石油執行役員 萩野様よりご挨拶がありました。その後、全員で記念撮影をし、2班に分かれて体験活動に取り掛かりました。</p>	
			
			<p>木工班は、マイ箸&箸置き作りをする組とドアノブかけを作る組と2つに分かれて作業をします。準備をする間、四国森林管理局の方から森林についてのクイズが出されました。親子で考えながら回答を書いていきます。難しい問題もあり、答え合わせをすると10問正解のパーフェクトは1人だけでした。</p> <p>お箸は竹をナイフで削って作ります。好きな細さになったら、防腐効果のあるかき渋を塗って乾かします。</p>



大人も子どもも夢中になって削っていました。箸置きは、カワウソの箸置きを作ります。ボンドで小さな耳や目をくっつけてカワウソの顔を作る細かい作業のため、大人の大きな手でやるのはとても大変そうでした。接着が完了したら、仕上げに目を書きます。目の位置を上の方に書くと、カワウソがクマに見えてしまうらしいです。

ドアノブかけはサンタとトナカイのデザインから好きな方を選んで作ります。見本を見ながら、ひたすらマジックで木材のパーツを塗っていきます。トナカイの鼻だけは、見本と違って赤くなっていました。

バウムクーヘン作り班は、親子で1つのバウムクーヘンを作ります。アルミホイルを巻いた鉄の棒に生地を垂らして、炭火で焼く作業を繰り返す根気のいる作業です。子どもたちよりも、大人の方がハマってしまっているようでした。焼く人によって形も様々で、中には職人さんのように綺麗に焼かれている方もいました。形や焼ける速さを競ったり、上手に焼くコツを教えあったり、皆さん和気あいあいと楽しそうに体験されていました。バウムクーヘンのおいしそうな匂いでいっぱいになった作業場では、完成するのが待ち切れず「早く食べたい！」と子どもたちがアチコチで叫んでいました。



2班それぞれの体験を終了したあとは、待ちに待った田舎料理のバイキングです。しいたけのタタキ、イタドリの炒め物、田舎寿司、野菜のかき揚げ、こんにゃくの唐揚げなど色とりどりの料理が地元の婦人会の皆さんによって準備されていました。「これは何?」「どうやって作っているのですか?」など馴染みのない料理に質問が飛び交っていました。中でも人気があったのは、しょうゆ汁でおかわりを求める列が出来ていました。おまんじゅうやヨモギを使ったシフォンケーキ、芋餡の揚げギョーザなどのデザートに合わせてコーヒーも用意されていて、皆さんお腹いっぱいになるまでバイキングを楽しんでいた様子でした。



コーヒータイムには、いの町有林でつくられたクレジット付きペン立てやコースターが販売されました。商品1つにつき 25~30kg の二酸化炭素がオフセットされるものです。皆さんそれぞれ説明を聞いたり、お土産に買い求められたりしていました。

コーヒーを飲んでゆっくりした後は、閉会式です。いの町森林政策課野村課長より「来年の交流活動でまたお会いしましょう」と挨拶があり、第10回交流活動は終了しました。